

土砂災害への備え

大雨による災害にご注意ください！

ご存知の通り、この梅雨による断続的な雨により、中城村北上原地区で6月10日大規模な地滑りが発生したほか、那覇市首里烏堀町でもマンションに倒壊のおそれが生じているなどの被害が発生し、地域住民に非難勧告等が発令する事態にまでなりました。今後も地盤のゆるみ等による土砂災害発生のおそれがありますので、今一度、防災対策を確認しておきましょう！

がけ崩れ



地面にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって、弱くなった急な崖地や斜面が突然崩れ落ちる現象を「がけ崩れ」といいます。

こんな前ぶれに要注意！

- ・斜面からの水がにごる。・地下水や湧き水が止まる。
- ・斜面のひび割れ、変形がある。・小石が落ちてくる。

地すべり



粘土などのすべりやすい層の上にある斜面部が、しみ込んだ雨水の影響などでゆっくり動き出す現象を「地すべり」といいます。

こんな前ぶれに要注意！

- ・地面にひび割れやズレができる。
- ・井戸や沢の水がにごる。・斜面から水が噴き出す。

土石流



谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に渓谷を一気に流れ下る現象を「土石流」といいます。

こんな前ぶれに要注意！

- ・山鳴りがする。・川がにごったり、流木が流れる。
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
(土砂により上流で流れがせき止められている。)

心構え 災害予防の

- ①お住まいの地域で指定されている非難施設まで実際に歩いて、危険な場所がないか、また周辺の道路や施設の状況を確認し、安全な避難経路を覚えましょう。
- ②雨量が多いときは、ラジオやテレビで最新の気象情報や天気予報、警報、災害情報、避難警報を得るとともに消防署、警察署などからの非難指示にも注意しましょう。
- ③避難時はすぐに非難しなければいけません。そのような場合に備えて、非常持出し品(水・食料品・衣類・医薬品・貴重品など)を準備しておき、持ち出す物を用意しましょう。
- ④災害時に家族が離ればなれになった時、あわてないためにも、お互いの連絡方法や集合場所を決めておくとともに、家族で防災について話し合しましょう。

土砂災害マップ(ハザードマップ)でチェックしよう！

土砂災害マップは、沖縄県が平成10年に調査を行った結果をもとに、土砂災害のおそれのある箇所を地図上に示したものです。皆様の身の周りにおける土砂災害の危険箇所や土砂災害についての情報をお知らせし、土砂災害への警戒・非難に役立ててもらうことを目的にされたものです。一度、自宅付近のチェックをしてみてください。沖縄でも、中城村の地すべりや首里のマンション被害がおこったことで身近な問題になりました。「自分の周りでは大丈夫！」と安心してはいけません。普段から災害への関心を持ち、備えることが身を守る第一歩となります。

土砂災害マップは沖縄県のホームページで確認ができます。アドレスは↓

<http://www.pref.okinawa.jp/kaigannbousai/con09/09index.html>

お願い

お客様の建物に設置されているガスボンベの設置状況は大丈夫ですか？もし、「傾いている」「不安定だ」「しっかり固定されていない」などの状態に気づいたら、りゅうせきエネプロまでご連絡ください。よろしくお願いします。